

日本共産党区議団

小島和男

区政二ユース



2018・6
NO 901

発行

荒川区荒川2-1-3区役所内・5階控室
3802-4627
E: arajcp@tcn-catv.ne.jp
事務所 東日暮里三・十八・四
電話三八九一・八八八四
FAX 3891・8912
自宅 東日暮里六・二十一・五
電話三八〇六・九五五二

大阪北部で震度6弱の強い地震がありました

6月18日午前7時58分ごろ、大阪府北部で震度6弱の地震があり、学校のブロック塀が倒れて小学4年の女子児童が亡くなるなど5名が死亡、300名を超える負傷者も出ています。被害に遭った皆さんに心からお見舞いを申し上げます。



荒川区が学校など公共施設の緊急点検を実施しました

大阪北部地震による小学校ブロック塀の事故を受けて、荒川区では、緊急に19日に区の職員が目視で区内の学校など公共施設の点検調査を行った結果、公共施設135か所のうちブロック塀・フェンス、122か所の調査で、一部に亀裂のある施設もあるとの報告がありました。

今後、赤外線による構造調査などを行って改修を行い、場合によっては撤去することになっています。

来年度に使用する中学校道徳教科書の展示会を実施中

2019年に使用される中学校の道徳教科書が荒川区でも7月27日が採択日となっています。道徳教科書8社(30冊)から申請がありました。そのなかには、8社中5社が3段階から5段階で中学生に自己評価させる欄もあります。

教育学研究者からは「生徒自身に内心を数値で評価させるものであり、子供の考えを縛ることになりかねない」などの疑問・懸念の声が出されています。今回初めて参入した特異な歴史観をもった出版社もあります。展示会は左記の日時・場所で開催中です。感想、意見など書いてみませんか。

場所：荒川区立生涯学習センター3階

荒川区荒川3-49-1

問合せ先 教育センター

3802・5720

展示日：6月5日(火)

6月28日(木)



法律相談会

7月11日(水)
午後6時より
小島和男事務所

弁護士へのご相談は小島事務所に
ご連絡下さい

<連絡先>
小島和男事務所

3891・8884
小島和男携帯電話
090・4361・9202

特別支援教室に通う児童が増えています

通級指導学級で行っていた最後の2016年度では、児童数168人でしたが、各校での「特別支援教室」になった昨年度は184名、今年度は263名と増えてきています。さらに年度途中で増えることもあります。

小島和男は、6月本会議で特別支援教室の改善、充実を求め質問を行っています(質問要綱は裏面)。

2016年までは、通級学級だったので、各学校から拠点校に週一回通わないと授業が受けられませんでしたが、昨年度から各学校に教員が学校を巡回する特別支援教室になってから、同じ学校で発達障害や情緒障害の授業が受けられるようになったことから児童が増えています。しかも年度の途中から参加する児童もいます。

いままで拠点校で教員が集団で児童の状況を把握するメリットがありました。特別支援教室とは：発達障害や情緒障害など個別指導が必要な児童が、普段は通常学級に在籍して授業を受け、必要に応じて別の教室で、その子のニーズに合わせて個別指導や小集団指導教育を受けます。拠点校の発達障害教育を担当する教員が、グループ内の各小学校を教員2~3人一組で各学校を巡回して指導を行い、課題に沿った授業を在籍校で行っています。巡回指導は原則週に1回、2時間です。

学級担任とも連携し、児童の様子を把握し在籍学級での授業内容の工夫もすすめます。



	拠点校	巡回校
グループ1	二瑞小	瑞光小、三瑞小、六瑞小、汐入小、汐入東小、三峡小
グループ2	四峡小	峡田小、二峡小、五峡小、七峡小、九峡小、二日小、三日小、ひぐらし小
グループ3	尾久宮前小	尾久小、尾久西小、尾久六小、赤土小、大門小、一日小、六日小

日本共産党小島和男が 6月20日に代表質問行う

6月20日行った小島和男の本会議の代表質問の要綱

第一、高齢者・障害者の暮らしを守るために



介護保険利用料3割負担について、国に撤回を求め、区独自の負担軽減策を実施すること。
訪問介護の生活援助基準については利用抑制やケアマネジャーの負担増につながらないようにすること。

今年度の障害福祉サービス報酬改定における影響調査を行い、必要な財政支援を行うこと。

第二、すべての子どもたちが明るく生き生き成長できるようにするために
希望者に児童扶養手当を毎月支給できるようにすること。
児童扶養手当現況届けの提出受付は夜間、土日も実施すること。また現況届提出時に、くらしの実態把握や相談コーナーなどもつくること。



学童クラブ専有面積基準を満たすために、今後の増設計画を明らかにすること。

第三、ひきこもり対策について
ひきこもり対策強化の重要性を認識し、区内のひきこもり実態調査を行うこと。

荒川区のひきこもり家族会「たび

だちの会」への支援を強化して、居場所づくりなどを検討すること。

ひきこもり支援センターの設置を検討すること。

第四、特別支援教室の充実について



特別支援教室の拠点校は3〜4校に対して一校を配置すること。当面、日暮里地域に拠点校を設置すること。

年度途中の児童増に対応した教員の加配を都に求めると同時に、区独自に教員を配置すること。

各学校の専用教室を整備し、それぞれの児童の指導内容に即した備品を充実すること。

教育相談センターの心理専門相談員を増員し、ていねいに相談に当たって、児童の支援につなげる。

第五、超高層マンション中心の西日暮里駅前地区再開発の見直しをすること。

第六、区内の主要な駅のバリアフリー化の促進について

区内のJR各駅に

早急にホームドアを設置するようJRに働きかけること。



JR日暮里駅の点字ブロックの改善、駅両端のホームからの転倒防止用の柵の設置について速やかにJRに働きかけること。

三河島駅前の暫定広場 工事がまもなく始まり

三河島駅前北地区の再開発地域で、当面、暫定利用として3つの広場（子どもの遊び場・健康・イベント）にしますが、6月7日に工事業者と契約を済ませました。整備費は、3672万円、トイレ（男1・女1）は、2155万円です。6月22日に地元説明会を峡田小で午後7時から行い、説明会終了後に工事を始め、9月18日には工事を終了し、10月に開設する予定です。



東日暮里6丁目で2カ所の簡易宿所の新たな申請が

同じ事業者が、区内3カ所（うち2カ所は東日暮里6丁目）で、簡易宿所を開発するとして6月12日にサンパール荒川で地元説明会が行われました。東日暮里の2カ所とも24㎡程度で、一部屋5名の定員だとしています（ベットは平置き）。

質疑で図面の提示は区から言われたら出すとか、提出営業時間の常時職員の配置はしないなどと回答したことが問題になっています。東日暮里からの参加者は2名と少ないので、地元で開催するよう求めています。



米朝首脳会談での4項目の合意を歓迎します

米国のドナルド・トランプ大統領と北朝鮮の金委員長が、6月12日、シンガポールで米朝首脳会談を行いました。

両首脳は共同声明では金委員長は「朝鮮半島の完全な非核化への強固で揺るぎない決意」を表明し、トランプ大統領は「北朝鮮に対する安全の保証の提供」を約束し、米朝両国が「平和と繁栄を望む両国民の願いに従って新しい米朝関係を樹立」し、「朝鮮半島に永続的で安定した平和体制を構築」することを宣言した。



またトランプ大統領は、朝鮮戦争停戦合意から戦争終結に進めることを北朝鮮に提案しています。

日本共産党は、長年にわたって厳しく敵対してきた米朝と北朝鮮が、初の首脳会談を行い、朝鮮半島の非核化と平和体制構築をすすめる、両国関係を敵対から友好へと転換させるために努力することで合意したことに對して、心から歓迎するものです。

